

## 春

四

## 立春

1 逐吹潛開、不待芳菲之候、迎春乍變、將希雨露之恩。

吹を逐つて潛かに開く、芳菲の候を待たず、  
春を迎へて乍ちに變ず、將に雨露の恩を希はむとす。

立春の日、内園に花を進らしむる賦

立春日呈芸閣諸文友

2 池凍東頭風度解、窓梅北面雪封寒。

篇茂

窓の梅は北面雪封じて寒し。

立春の日、芸閣の諸文友に呈す

3 年のうちに春は來にけり一年をこそとやいはむ今年とやいはん

在原元方  
已上旧年

4 柳無氣力条先動、池有波文冰尽開。

府西池  
白樂天

柳氣力無くして条先づ動く、

池に波の文有つて冰尽くに開く。

5 今日不知誰計会、春風春水一時來。

同

今日知らず誰か計会せし、

春の風春の水一時に来る。

同じ

6 夜向残更寒磬尽、春生香火曉爐燃。

春(立春)

山寺立春  
良春道  
宿天台寺  
立春朝作

5 千載佳句・立春、白氏文集。今日とい  
う日に一体誰が前もって計算したのだろう  
か、春風と春水とが同時に米合わせることを。○  
計会引き合せる。白居易「立秋日登樂遊  
國」蕭何賦與袁燮「誰教計會一時秋」。白  
居易「錢塘湖石記」「田戶多与所由計會、盜  
湖水以利私田」。河南尹在任中、洛陽の作。  
五と併せて一首。

△和思嘉葉詩「君恩若雨露、君威若雷庭」。  
△底本「希に」に「帶」を注記。  
春風の到来に池の東側の氷は解けたが、家  
の北面はまだ雪に閉ざされて窓辺に梅が  
寒々と映っている。○池凍「礼記」月令「孟春之  
月、東風解凍。○逐吹」は風。百二十臘、俗  
云古今六帖、第一春立つ日。  
3 年内に春が来てしまつた。今日からこの  
一年をどのように呼べばよいのだろう。去年と言  
おうか、それとも今年と言おうか。△春を正月、  
二月、三月と定めてあるにも拘わらず、立春が前  
年十二月に来た戸惑いを説いた。但し、年内立春  
は新年立春よりも割合として僅かながら多い。底  
本「或千載在」。立春、白氏文集。白は早く  
も春風に枝をなよなよと動かしはじめた。  
池にはさざ波が立つて水もすっかり解けた。○府  
一役所。ここは洛陽にある河南府。△大和五年  
(805)河南尹在任中、洛陽の作。五と併せて一首。

◎春五行説で春は木・火・土・金・水の中の木  
の徳に当たり、方位(東・南・中央・西・北)は  
東に位し、色(青・赤・黄・白・黒)は青が配  
される。○立春二十四節氣の一。立春正月節とも。二十  
四節氣とは冬至から次の冬至までの太陽年を二  
十四に等分したもの。(一節氣の長さは一十五・二  
日)。旧暦ではひと月の間の月(天体)の満ち  
欠けと、何日という日次とが対応している。(三日  
に三日月があらわれ、十五日に満月になるという  
ように)。しかし、朔望月(二十九・五・三日)が十  
二回巡つても一年は三五五日ほどにしかならない。  
そこで二十四節氣の概念を導入し、閏月を十九年。  
月中が含まれる月を二月といふに決める。す  
ると一朔望月が、中と中の間(三〇・四二・一日)  
に完全に収まり、中を含まない月が二、三年に一  
度あらわれる。新月を閏月として調整する。  
一節氣はひと月の幅で前後する(何月何日という  
日付が季節に対応しない)。立春について言えば、  
雨水(正月)が正月初めに来た場合、立春は正月  
半ばとなる。新年立春と年内立春との割合は四、  
八五対五、一五で年内立春の年の方が僅かに多い。  
礼記「立春之日、天子親削、三公九卿諸侯  
大夫、以迎春於東郊」。  
梅は立春の風が吹くと人知れず蕾を開いて花を咲かせ  
た。百花の芳しくかおる時を待ちきれずに  
梅は立春を迎えて急に元の姿を変えて花を咲かせ  
た。春の露の恵みを受けるようとするかのように  
身分卑しく世に知られることがないこの私も寒  
木が春に逢うように、天子の雨露の恩恵に浴した  
いものだ。○逐吹は風。百二十臘、俗  
「逐吹梅花落」。○雨露之期、天子の恩恵は草木  
(人民)をうるおす雨露に喰えられる。白居易